

# ワクチンデビューは、生後2か月の誕生日!!

予防接種  
スケジュール例

通知が届く時期	ワクチン名とその種類	誕生	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	
生後1～2か月頃 (月末)	生ワクチン ロタウイルス (飲むワクチンです)	定期		①	②															
	不活化ワクチン 小児用肺炎球菌	定期		①	②	③														
	不活化ワクチン 五種混合	定期		①	②	③														
	不活化ワクチン B型肝炎	定期		①	②					③										
	生ワクチン BCG	定期								①										
1歳になる頃 (月末)	生ワクチン 麻しん・風しん1期	定期																		
	生ワクチン 水痘	定期																		
	生ワクチン おたふくかぜ	任意																		
3歳になった月 (月末)	不活化ワクチン 日本脳炎	定期																		
就学1年前の春	生ワクチン 麻しん・風しん2期	定期																		

1価ワクチンと5価ワクチンの2種類があり、どちらも、初回接種を出生14週6日までにします。

27日以上の間隔をあけて3回接種をしたあと60日以上あけて、かつ1歳～1歳3か月の頃に4回目の接種をする。

20日～56日の間隔をあけて3回接種をしたあと6～18か月後に4回目の接種をする。

27日以上の間隔をあけて2回接種をしたあと、1回目の接種から139日以上の間隔をあけて3回目の接種をする。

標準的な接種期間は5か月～8か月です。

1歳になったら、できるだけ早く受けるようにしましょう。

1回目から3か月以上(標準的には6か月～12か月の間隔を)あけて、2回目を接種しましょう。

2回接種が望ましいとされていますが、2回目の接種費用は全額自己負担となります。

6日～28日の間隔をあけて2回接種をしたあと、おおむね1年後に3回目の接種をする。

接種できる時期は5歳から7歳未満で就学前の1年間のみです。忘れずに受けましょう!!



**定期** 定められた期間内で受ける場合は原則として無料(公費負担)。多くは有料(自己負担)。ワクチンによっては公費助成があります。  
**任意** 任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。

公費負担で受けることができる期間  
※「NPO法人VPDを知って、子どもを守ろうの会」作成資料を参考にしています。

敦賀市健康推進課 「健康センターはぴふる」 TEL.0770-25-5311